

普及現地情報

発信年月日：令和2年（2020年）3月26日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C19050
部門分類：160（果樹）
発信者名：野村、蒲原

新たな果樹産地の育成に向けて なし新規栽培者の技術習得研修会を開催

当課では、「ぶどうとなしの新たな果樹産地育成と販路確保」を課題とした普及活動に取り組んでいます。新規栽培者の大半は販売用果樹の栽培経験がないため、栽培技術の習得が重要な課題です。

今回、3月12日に甲賀市春日のモデルほ場において、なしの新規栽培者を対象とした研修会を開催しました。

研修会では、始めに、なし栽培暦について、今年度新たに見直した施肥設計を中心に説明しました。その後、昨年、一部の果樹園で発生した黒星病の生態と防除方法について説明するとともに、その対策として昨年試行した黒星病防除タイミングの判断ツールである「梨なび」について、2020年からの本格運用について指導しました。最後に、モデルほ場の樹を利用して、催芽期と鱗片脱落期の見極め方と防除タイミング等について説明しました。

参加した栽培者からは、「新規栽培者同士で生育状況や管理について確認できて心強い」など、技術習得は勿論のこと仲間意識の醸成効果も伺われる感想が出ていました。

当課は今後も、現地巡回指導等で実施状況の確認を行い、技術内容の確実な習得に向けてフォローを行う予定です。



当課による栽培暦の説明



モデルほ場での催芽期の説明